

**指定管理者制度活用事業 評価シート(高齢センター)**

**1. 基本事項**

施設名称	川崎市高齢社会福祉総合センター 「人材開発研修センター・保健福祉研究センター」	評価対象年度	平成27年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人川崎市社会福祉協議会 ・代表者名 会長 佐藤 忠次 ・住所 川崎市中原区上小田中6-22-5	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

**2. 事業実績**

利用実績	<b>(1)人材育成研修</b>				
	介護職員初任者研修会	回数	定員	受講者数	修了者数
	4社協共催トップセミナー※2	2	80	44	38
	福祉職員向け現任研修	1	200	147	147
	認知症研修	31	1,114	1,114	1,101
	介護福祉士資格取得準備講習	4	131	129	122
	介護福祉士資格取得準備講習	1	40	25	25
	重度訪問介護従事者養成研修	1	20	18	18
	予防給付ケアマネジメント従事者等研修	1	40	30	30
	※2 横浜市、神奈川県、相模原市、川崎市				
	<b>(2)地域への普及啓発</b>				
	福祉情報ミニ講座	回数	定員	参加者数	
	福祉用具講座	4	260	254	
	地域講座(出張講座)	1	30	29	
	介護講座	5	—	112	
	サポーター養成講座への支援	4	90	70	
	介護いきいきフェア	271	—	8,856	
	認知症講座(キャラバン・メイト養成研修)	1	600	750	
	認知症講座(サポーター養成講座)	1	80	85	
	認知症キャラバンメイト・フォローアップ研修	1	—	350	
	1	48	48		
	<b>福祉用具常設展示及び相談件数</b>				
	展示数	電話相談	来所相談	研修生対応	展示見学
	84	8	14	38	47
	<b>介護・福祉資料等貸出</b>				
	<b>書籍・雑誌</b>		<b>ビデオ・DVD</b>		
	蔵書数	貸出数	所有数	貸出数	
	福祉関係	2,230	130	476	36
	医療・看護関係	401	9	69	11
	その他	199	80	61	1
	合計	2,830	219	606	48
	<b>種類</b>				
	種類	保有数	数	利用数	
	視聴覚機材	9	2	47	
	高齢者疑似体験	5	0	0	
収支実績	<b>(収入)</b>		<b>(支出)</b>		
	(単位:円)		(単位:円)		
	指定管理料	85,216,329	人件費	41,655,899	
	利用料金	5,878,925	事務費	26,760,686	
	その他収入	132,000	事業費(人材開発研修センター)	15,559,968	
	収入計	91,227,254	事業費(保健福祉研究センター)	3,616,683	
			支出計	87,593,236	
			(収支差額)	3,634,018	
サービス向上の取組	<p>福祉職員向け研修では、仕様書(40コマ)を上回る49コマの開催回数により、受講者数増加に繋がっている。また、関係機関と協働し、現場の魅力を伝える時間を設定し、研修終了後の就労促進のための取組を推進している。</p> <p>認知症キャラバン・メイト事業においては、認知症サポーター養成講座による普及啓発を行い、養成講座をより開催しやすくする支援(資料の郵送や実施時の助言、キャラバン・メイトの紹介等)や、メイトフォローアップ研修を初心者と経験者に分けて開催するなど、規定講座だけでなく認知症についての理解を大きく広げるための活動を行っている。</p> <p>福祉用具の展示については、合計84品目を展示し、各種相談、使用方法及び情報提供を行ったほか、新たに家事用具の展示を行い、福祉用具を身近に感じてもらう工夫を実施している。また、福祉用具講座では、年齢を重ねたことによる日常生活のちょっとした不便さを解消する身近な福祉用具の紹介を行っている。ホール内には、利用者用コピー機を設置し、利用者の利便性を高めている。</p>				

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
適正な業務実施	人材育成研修	福祉の現場・時代のニーズ等に合わせた研修の提供が行われているか	10	4	8
		研修の実施回数・定員等は適切か			
	普及啓発講座等	地域・時代のニーズ等に合わせた講座等の提供が行われているか	10	4	8
		講座等の実施回数・定員等は適切か			
		福祉機器の展示・資料貸出等は、市民への介護の普及啓発として適切に行われているか			
事業の周知	利用促進のため効果的な事業の周知・広報等を行っているか	5	4	4	
関係機関等との連携	関係機関及び地域との連携を積極的に行っているか	5	4	4	
<p>(評価の理由)</p> <p>人材育成研修については、現場職員や市民の需要に対応するためにアンケートを実施し、ニーズに沿った研修を実施したほか、国レベルで重視されている「キャリアパスの構築」を目的とした研修を実施し、地域、時代のニーズに即した効果的な内容となっている。受講率は100%を上回る数値を達成している。</p> <p>普及啓発講座等については、ニーズのあるテーマによる講座の開催、地域団体等の要望による出前講座(地域講座)の実施を積極的に行っている。また、市民、福祉団体、行政等による「介護いきいきフェア」では、スタンプラリーの実施やキャラクターの登壇など、既定路線にとらわれない新たな取組によりイベントを盛り上げ、積極的な集客を図っている。</p> <p>事業周知を市内施設へのチラシ配布や市政だよりの活用の他、近隣町内会へ配布やタウン誌の記事掲載等、様々な手段で行っている。</p> <p>また、川崎市老人福祉施設事業協会や、市内高齢者施設等と積極的に連携し、受講者の就労に向けた動機付け等を目的とした独自カリキュラムを設けているほか、地域包括支援センターや区役所との連携による認知症サポーター養成講座の実施、近隣町内会への協力や情報提供等、地域との交流を図っている。</p>					
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	4	4
		指定管理料に見合う事業効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	5	4	4
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	5	4	4	
	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか				
<p>(評価の理由)</p> <p>保守点検業務等については、施設総合管理業務とし業務の一元委託を継続実施している。また、パソコンリース等の業者について、競争入札により最低価格を示した業者に決定しているほか、電気代や通信運搬費の削減に向けた取組や、効果的な広報手段のフィードバックを行っている。</p> <p>市民や介護職等の現任職員のニーズを調査して研修を組み立てており、受講率が100%を上回るなど、受講料収入の増加に繋がる取組を積極的に実施している。</p> <p>金銭管理・会計手続については、現金の出し入れは特定の職員に行わせるようにしており、金額確認は複数人によって実施して法人会計部署の回議を経る等、適切な管理に取り組んでいる。</p>					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	5	4	4
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
	業務改善によるサービス向上	サービス向上のための取組がなされているか	10	4	8
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	10	4	8	
	意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)				
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
<p>(評価の理由)</p> <p>施設の老朽化に伴い、本市との調整のもと、修繕等について順次着手し、快適な研修環境の提供に努めている。</p> <p>研修ニーズについては、研修事後アンケートによる意見・要望の把握を重ね、集計結果を分析し、分析結果を研修内容に反映できるよう試行錯誤を繰り返す、研修の継続や見直しに努めており、受講率は100%を上回る結果となっている。</p> <p>また、苦情等への対応については、関係要綱に基づき受付担当者、責任者等を定め、必要に応じて所管課である高齢者事業推進課と協議し、適切かつ迅速に対処できる体制を整えている。</p>					

組織管理体制	適正な管理体制の構築	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
		定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
		再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	5	4	4
		事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
	安全・安心への取組	感染症への対策は適切に行われているか			
実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取り組みがなされたか。					
コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	4	4	
	個人情報の管理は適切に行われているか				
<p>(評価の理由)</p> <p>適正な管理体制の構築については、必要な職員を配置し、職員のスキルアップについては、研修機関として望ましい知識や技術習得のための研修や講座等へ、積極的に参加している。また、研修、講座等について、関係所管課と会議・打合せを実施して内容の構築を行っているほか、責任者の定期来所による管理委託事業者との連携を行っている。</p> <p>感染症対策として、受付に手指消毒液、使い捨てマスクを設置し、予防に努めている。さらに、震災を教訓とし、受講生用ヘルメットを常備している。防災訓練として、消防署へ防災計画を提出し、消防署の立ち入り検査を受けている。また、併設施設と共同で防災訓練を年2回実施している。法令遵守については、個人情報保護規程に基づき、入口にプライバシーポリシーを掲示しているほか、他施設実習を行う受講生への個人情報保護に関する指導、事務所内個人情報の定位置収納の徹底を図っている。</p>					
適正な施設管理	施設・設備の保守管理、清掃、警備等	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	10	4	8
		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
		外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
		設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
<p>(評価の理由)</p> <p>施設、設備の維持管理については、管理委託事業者月に1回報告を受け、修繕が必要な場合は併設施設と協議を実施し、修繕前後の写真記録、現場の目視による確認を行うなど、適切に管理が行われている。また、保守点検等を含め施設の管理を一元的に委託することで、管理担当職員の業務軽減以外にも、日頃からの目視点検や総合的な管理点検、軽微な修理等の実施を独立的に実施している。</p> <p>外構の植栽管理について、本市が委託業務として実施管理して美観を保っているが、作業前には、職員が近隣住宅をすべて訪問して作業日を事前に周知して注意喚起している。</p> <p>また、備品等の管理については、適切に管理し、消耗品については、在庫を常にチェックし、事業に支障を来たさないよう迅速な補充を行っている。</p>					

#### 4. 総合評価

評価点合計	80	評価ランク	A
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>研修内容や普及啓発の取組については、ニーズ調査や各関係団体との意見交換等を積極的に行い、既定路線にとらわれない、利用者ニーズに合わせた事業内容の再構築を積極的に行っており、受講生の獲得等、実績に繋がっている。</p> <p>会計処理や施設、整備の維持管理、個人情報の管理については、適切に管理を行うための体制等を構築し、実施している。</p> <p>研修機関の職員教育として、望ましい知識や技術習得のための積極的な研修受講や、防災や経費削減等の取組に関して、併設施設との連携が図られている。</p>
--

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

指導事項等なし
---------